

柔道と怪我が育てた 若き女流治療家

輝く女性治療家たち



PROFILE

株式会社スリートレジャー

天竜堂整骨院

院長

内田 徳子 (うちだ とくこ) 先生

専門学校在学中に代表 新井氏と出会い、卒業と同時に入社。開院準備から携わり、院の保険診療全般と受付・管理を行う。

滋賀県出身25歳

【2009】立命館大学卒 【2012】京都仏眼医療専門学校卒 【2012】柔道整復師免許取得 【2012】社団法人日本柔道整復師会会長賞 受賞



治療院入口に掲げられた歴史を感じさせる「天竜堂療院」の文字。オーナーの新井氏が先代から預かる由緒正しき看板は、現在三代目となる。

「こう見えて実は結構ムキムキです(笑)」と優しい笑顔で話す内田先生。今年6月、豊中市内の住宅街にオープンした「天竜堂整骨院」院長の内田徳子先生。小学生の頃に始めた柔道は中学、高校と続け、大学に入り専門としてはやっていたいなかったものの、大学近くにあった道場からの依頼でそこに通う子供たちを指導していた。卒業するまでの間、通算7年間指導を続けていた。ここでの指導者としての経験が治療家としてこの道に進む大きなきっかけにもなったという。

大学卒業後に進んだ専門学校在学中に出会った、カiroプラクター歴24年の大ベテラン新井氏に師事。卒業と同時に同氏が経営する株式会社スリートレジャーに入社し、6月に同院を開業させた。

「どこからぶつかられても大丈夫だっというタイプではないですし、常に怪我と隣り合わせのスポーツなので、何度も骨折しましたし、怪我也多かったんです。その度に、治していただいていたのはいつも骨つぎの先生なんです。整形の方とかに一切お世話にならなかったことが無い。それくらい私の中では身近というか、当たり前の存在でした、この柔整師という職業は。柔道が続けてきた、また、その指導に携わってきたことが、治療家としての今の自分にとっても活かされています。」

ひどい骨折をした時、「女性の敵しそうな先生が私の体に馬乗りになって「バキッ」って骨を繋げてくれました。泣くに泣けない強烈な痛みでしたが、今思えばとてもいい経験だったと思います。」

子供たちの柔道の指導にあたっていたこともしつかりと活かされている。治療院周辺には学校が多く、子供たちの怪我のケアはもちろん、スポーツする上で体の使い方、鍛え方の指導までおこなう内田流にはすでに多くのファンが付いている。「ここ(天竜堂)に来たら治療だけでは終わらせない、これがウチの〝売り〝です。」怪我からの回復をサポートし、回復後のトレー

ニングまで指導していく。「まだ、たった半年ですけど、これがわたし流です。」

柔らかな表情を一瞬きりつと引き締めて話を続けた。「これまでお世話になった柔道整復師の先生や、道場の先生方は、地域の皆さんの怪我や、健康を守られていて、とても地元で愛されている先生方なんです。そういう姿を見て素晴らしいと思いますし、心から尊敬しています。その先生方と同じ仕事に就くことができて本当に良かったと思っています。」

「ただ、まだ自分はそれに全然近づけてない。患者さんから見たら1年目も「先生」って呼ばれてしまいます。先生という、その名にだけは恥じないように心がけています。」

現在25歳の内田先生。「30歳までには地元の滋賀県に帰って、私を育ててくれた恩返しと地域への貢献をしたい」と将来を語る。「もともと滋賀で柔道してましたし、滋賀の先生にもとてもお世話になりました。その中で「一人前になったよ」って言うって故郷に胸を張って帰りたい。そんな存在になりたいと思っています。」

天竜堂整骨院と若き院長内田先生の今後の成長を見守っていききたい。



天竜堂整骨院

〒560-0011
大阪府豊中市上野西 1-13-15
Tel:06-7502-3154 Fax:06-7503-9262
http://www.tenryudo.net/
診察時間
月-土 9:00-12:00 17:00-20:00
休診：水士午後、日祝